

# 学院大・短大入学式

平成二十年金沢学院大学大学院、金沢学院大学、金沢学院短期大学の入学式は四月二日、第一体育館で行われ、大学編入学、大学・短大の各専攻科を含めた計五百四十八人が学生生活のスタートを切りました。今年度は新しく大学院に人文科学研究科修士課程が設置され、一期生七人が研究活動に取り組みます。

## 基本に忠実に生きよう



入学式で式辞を述べる石田学長 = 金沢学院第一体育館

# 途中でやめない努力を

宣誓を読む新谷さん



宣誓を読む古さん

大学入学生を代表して文学部日本文学科の新谷千夏さん（南砺総合高校井波高校出身）が、「少子高齢化の進む日本で私たち若者に求められるよう努力と精進を重ねる、短大入学生を代表して生活デザイン学科の古乃乃さん（金沢学院東高校出身）が、「希望に満ちた未来を輝かせるため、勉学や部活動に励み、友情を深めたい」とそれぞれ宣誓しました。石田寛入学長は式辞で、

小木曾登特任講師の委嘱賞「待春」



原千紗さんの一般最高賞「Laundry」



「勉学と活動に気持ちを集めてほしい。そのためには、基本に忠実に生きる、希望と目標を持って積極的に生きるの二点を要望する」と述べました。飛田秀一理事長は「何事も途中でやめない、あきらめなことが大切。自分の好きなことを見つけ、楽しめる工夫、仲間を見つける努力をしてほしい」と激励しました。式後、新入生歓迎会があり、各サークルの活動が紹介されました。

## 原さんに一般最高賞

### 現代美術展 小木曾講師に委嘱賞

第六十四回現代美術展に金沢学院大学美術文化学部と同専攻科の学生卒業生、修了生、教員合わせて二十三人が入選しました。このうち専攻科を今春修了して東高校非常勤講師を務める原千紗さんが一般出品日本画部門の最高賞である北陸放送社長賞、小木曾登特任講師が日本画部門の委嘱賞を受賞しました。また学部一年の小林友春君（金沢学院東高校出身）と四年の田中冬美さんが新入選でいきなり北國賞に入選を達成しました。現代美術展は四月二十日まで、金沢21世紀美術館で開かれています。

このほかの本学関係の入選者は次の皆さん。  
日本画 新入選 石田美雨、今崎暉、宮崎薫里絵、吉田涼子、湯谷幸、再入選 本明千伶、洋画 新入選 永井祥恵、鍛冶純平、千羽真利、寺田祐子、小坂早苗、浦野豊（佳作）、宮田絵実、再入選 西田伸一（北國賞）、青木良識、陶芸 再入選 尾蔵浩平、魚津悠、羽場文彦、漆芸 再入選 村谷聡志

## 五輪出場者の応援垂れ幕

今年八月に開催される北京オリンピックの水泳・女子高飛び込み日本代表に決まった中川真依選手（金沢学院大学経営情報学部入部1ツビビジネス学科三年）を応援する懸垂幕が四月一日、3号館に設置されました。同五輪大会閉幕まで掲げる予定です。



## グループ新入社員が見学

北國新聞社と関連会社の新入社員合わせて二十九人が四月三日、金沢学院を見学しました。本学の教育内容などに理解を深めました。上山夏樹副理事長が挨拶したあと、二班に分かれて校内を見学しました。写真。



## 発行・広報室